
2) 議事録

第9回 祐天寺駅周辺地区街づくり懇談会 議事概要

日 時：令和元年10月3日（木）19:00～20:30

場 所：上目黒住区センター1階 ミーティングルーム

出席者：委員…出席者11名

目黒区（事務局）3名、コンサルタント2名

- 次 第：1 はじめに
2 祐天寺駅周辺地区整備メニューについて
3 意見交換
4 その他

1 はじめに

2 祐天寺駅周辺地区整備メニューについて

- ・ 祐天寺駅周辺地区整備方針の策定に向けて、整備構想を実現するための整備メニュー例について、事務局から説明した。

3 意見交換

- ・ 祐天寺駅周辺地区整備メニューについて、意見交換を行った。
(内容は<意見交換の内容>を参照)

4 その他

- ・ 次回懇談会の開催は、11月1日（金）19時からの開催とする。
- ・ 次回は、本日の意見交換を踏まえた祐天寺駅周辺地区整備方針のたたき台について、意見交換を行う。

<意見交換の内容>

○整備メニューについて

- 資料1のp.5に記載のある上目黒小学校正門に向かう道路は32年前にコミュニティ道路として整備された。その後修繕などされたが、整備当時の状況と同じ状態ではない。現状はところどころ傷んでいる。ぜひ整備して欲しい。

- 多数の整備メニュー例が提示されているが、もう少し精査した方が良いのではないか。祐天寺駅周辺地区には当てはまらないようなメニューもあると思われる。商店街や町会のことなど様々記載されているが、それぞれで解決できることもあるのではないか。
また、各駅を見ると、喫煙所の有無とポイ捨てには関係性があると思う。喫煙所がないからポイ捨てが増えるのだと思う。そのような点も検討したらどうか。
→整備メニュー例は、区の実施計画や様々の計画の一般的なメニューからも抽出している。それ以外にもアンケート調査や懇談会でのご意見から整理したメニューもある。今年度は整備方針を策定するが、今後整備計画を検討するには整備メニューに優先順位を設定して整備メニューの精査や工程を検討する予定である。喫煙所の件も検討する。(事務局)

- 資料1のp.1に整備優先度の視点として10年計画とある。これから税収が減少する可能性もあるなかで、本当にこれは10年で実施できることなのか。
→例えば区の実施計画で位置づけのある事項は、基本的に実施できると考えている。ただし、祐天寺駅周辺で実施するとは決まっていない事項もあるため、今後庁内で調整していく。ただし、ご意見の通り、今後人口が減少していく予測があるため選択と集中を考えていく必要がある。例えばハード整備は、区の資金だけでは実施できないため、国や都の補助金を受ける必要がある。そのための計画づくりを現在行っている。(事務局)

- 学芸大学駅周辺や西小山駅周辺は都市計画道路との関わりがあるため補助金を受けやすかったと認識している。祐天寺駅周辺は、その位置づけがないため、慎重に検討をしないといけない。時間を要すると思う。
→ご意見の通り、祐天寺駅周辺でどのように事業を実施していくかは、関係機関と調整していく必要がある。(事務局)

- 駅前広場も今後10年かかるということか。
→10年というのは整備構想の計画目標年次であり、10年で祐天寺駅周辺地区全体を整備していくという計画である。その中で、整備メニューに優先順位を設定し、短期で実施するメニュー、中長期で実施するメニューなどを設定していく。ご意見のあった通り、時代が変われば計画の見直しも必要となる。
ご意見の駅前広場は優先度が高いと考えている。
ただし、今年度策定する整備方針を踏まえて、今後策定する整備計画がないと区としても前に進めない。(事務局)

-
- 整備メニューに具体性のない緑の記載がある。どこに緑を作るのか。緑とまちがどのようにつながるのか。ビジョンが見えない。
→すぐに公園を作ることが出来れば良いが、公共用地が少ない。緑は、地域の方にご協力を頂きながら進めていくことになると考えている。(事務局)
 - 緑の守り方という点で、例えば自由が丘でハチミツを作っている。あれは緑なしでは成立はしない。緑そのものではなく、間接的な守り方もあると思う。
 - 我が家にはガマガエルが住み着いている。そのように自然が残っている家もある。
→資料1において、緑に関する整備メニュー例に、地域の実態に沿ったルールづくりの推進と記載している。地域全体のルール作りというのは、都市計画や区の各種制度を活用して地域全体でルールを守ろうとなれば、建物を建てる際に一定程度基準を設定することができるようになる。また、整備計画を策定した後で、地域の皆さんが頑張ってみようとなれば、区から支援できる枠組みになるのではと思う。そのような道筋を整備計画で位置づけていく。
地域の方達が主体で実施していく事項もあれば、区が主体で駅前広場のように検討していく取組もあるので、この機会と一緒にまちづくりを進めていければと考えている。(事務局)

○その他

- 10月2日に実施した交通量調査は、いつ頃結果が出るのか。
→1ヶ月程度を想定している。今年度は、駅前広場の歩行者交通量、昨年度は駅前広場の自動車・自転車交通量とバスルートの主要な交差点での自動車交通量を調査した。これらを参考に、駅前広場の今後の在り方を考えていきたいと考えている。(事務局)
- 駅前広場については、駅前広場に係わっている人達が議論に参加をしてもらえるような状況を作っていけないと、今後は難しいと思う。

以 上

2) 議事録

第10回 祐天寺駅周辺地区街づくり懇談会 議事概要

日 時：令和元年11月1日（金）19:00～20:30

場 所：上目黒住区センター1階 ミーティングルーム

出席者：委員…出席者7名

目黒区（事務局）3名、コンサルタント2名

- 次 第：1 はじめに
2 祐天寺駅前広場に関するアンケート結果報告
3 祐天寺駅周辺地区整備方針（たたき台）について
4 その他

1 はじめに

2 祐天寺駅前広場に関するアンケート結果報告

- ・ 祐天寺駅前広場に関するアンケート結果を説明後、質疑応答を行った。
（内容は＜意見交換の内容＞を参照）

3 祐天寺駅周辺地区整備方針（たたき台）について

- ・ 祐天寺駅周辺地区整備方針（たたき台）を説明後、意見交換を行った。
（内容は＜意見交換の内容＞を参照）

4 その他

- ・ 11月12日（火）までに祐天寺駅周辺地区整備方針（たたき台）について意見を伺う。
- ・ 今後、庁内で祐天寺駅周辺地区整備方針（素案）を作成し、パブリックコメントを行う。1月9日（木）19時から住民説明会を行う。

<意見交換の内容>

○祐天寺駅前広場に関するアンケート結果について

- 駅前広場に歩道橋を設置する絵が二箇所に掲載されているが、このような意見が多かったということか。祐天寺駅前のスペースで実現することは難しいと考える。
→このような意見が多かったということではなく、提出された中の一つのご意見として掲載している。新しい駅ビルや既存のスペースを考えると、非常に難しいと考える。(事務局)
- 駅ビルの2階直結は、実現できれば良いが、駅ビルの2階には保育所が入っていたり、駅の反対側からの動線も気になる。
- 花壇の維持管理を行って頂いている方が高齢化しているという回答があるが、目黒区は、花壇についてどのような費用負担をしているのか。
→花苗の費用の8割から9割を区が負担し、地域の方に植栽、管理を行って頂いている。小学校の児童も作業を行いたいという声も聞いている。花壇を全て無くすのではなく、お手伝い頂ける方がいる場合は、可能な範囲で花壇を残していく必要もあると考えている。(事務局)
- 駅前広場でイベントを実施することについて、意外と反対意見がある。交通処理やスペースの問題など制約が多い中で、今後どのように進めていくのか。
→駅前広場の改善策について、様々なご意見を頂いている。ただし、バスやタクシーなどの既存の交通機能も含めて、交通処理を行う空間を確保していくことは、駅前広場の前提となる。今後は、必要となる空間の詳細な検討を進めながら、地域の皆さんにご意見を伺う機会を設けていきたいと考えている。(事務局)
- バス事業者としては、現在の祐天寺駅を通る路線は重要な路線であり、利便性向上を考えていきたい。今後駅前広場を改良していくあたり、少しでも通りやすい広場にして頂ければありがたい。
- 交通広場であるので基本は安全、安心の確保と考える。目黒区の中でも駅前広場が整備されているところもあるので、そのような場所の見学や意見交換しても良いかと考える。
- 小学校にバス停やタクシー乗り場を設置出来ないのかという回答があるが可能なのか。様々な意見が出ているが、優先順位をはっきりさせないといけない。極端に言えば、学芸大学駅のように、駅前広場に車を入れさせない自転車は降りて通行するなどがある。
→小学校を使って交通処理をすることは行政目的上も難しい。区の独断で改修計画を作り、整備するのではなく、可能な限り、様々な考え方を伺うために、会議やアンケートなどを実施している。今後は優先順位をどのように考えていくか、道路としての機能もあるので警察とも協議をしながら検討していくことになる。(事務局)
- アンケート結果をみる限りは、花壇に対するイメージは良いと思う。地域で維持管

理が出来なくとも、可能な範囲で区にお願いすることも良いのではないかと。大きな樹木を植えなければ、イベント会場としての利用も出来るのではないかと思う。全ての人の意見を取り入れることは難しいと考える。公共機関だから、送迎までは難しい。

- 花があるところは、声かけも多く、犯罪者が少ないと感じる。
- まず考えて頂きたいことは、駅前の交通の渋滞をなくすこと。その根源は、現在の道路幅が狭いこと。そのためには、ロータリーはある程度縮小して通行帯を広くするという方向にでなければ変わらない。

○祐天寺駅周辺地区整備方針(たたき台)について

- 自転車シェアリングの記載があるが、目黒川沿いで実施されているようなことか。
→目黒川沿いでも実施している。目黒区では今年の始めから実施しており、渋谷区や港区など都心で実施されている流れが西に広がってきている。全体をつなぐ形で、どこでも乗り捨てられる。いくつかポートを作っており、今年度、ポートを増やす予定である。ただ、課題もあるので検討することとして載せている。(事務局)
- 駅前広場に関して様々な要望が出ているなかで、自転車シェアリングのポートをどこに置くのか十分検討が必要である。安全、安心住みよいまちづくりということを考えると、祐天寺駅前のどこに置くことが良いのか。
- 駅前広場は避けて頂きたい。
- 整備構想の地区の将来像に「多様な歴史と新しい文化が交流し共鳴しながら創造するまち」と書かれているが、整備メニューのどこが多様な文化を指しているのか。
→多様な歴史と新しい文化ということで、アクションプラン2の周辺地域と連携したまち歩き観光の強化を考えている。まち歩きは、地域の様々な資源を見て歩いて頂きたい、祐天寺に多くの人に来て頂きたい、という取り組みである。その中で古い資源もあれば、祐天寺の新しいお店などがうまく組み合いながら地域を歩いてもらいたい。そのためのルートの検討や地域の資源の掘り起こしを一例として考えている。(事務局)
- まち歩きについて、中目黒化は避けたい。昭和通りでハロウィンをやっていたが、高齢者と子供たちが和気あいあいと歩いていた。とても素晴らしかった。
→まち歩きだけでなく、アクションプラン1の商店街の賑わいの形成として、まちづくりの機運を高めながら区民とともに継続的に進める取組に、イベントに関しても今後皆さんと一緒に考えていきたいとしている。祐天寺駅周辺にも様々な資源があるので、地域の方々と探しながら、新しい文化も作っていく取組を、今後整備計画を策定した後、ひとつひとつ進めて行ければと考えている。(事務局)
- バスルートの変更とあるが、現実には非常に難しい。バス路線のあり方の検討などとした方がよい。
→これまでの議論などで、バスルートの変更やバスの小型化などのご意見が出てい

る。表現は検討する。(事務局)

- 業務機能に関して、地元の商業店舗や住宅地に業務機能があると女性の働き場所の提供など、今後重要になってくるかと思う。
→ひとつの考え方として、アクションプラン1の地域活性化に資する空き店舗の利活用の検討がある。シェアオフィスのような利用や、みよし通りに見られるようになった、小さなデザインオフィスのような形態など。利用形態が変わりながら新しい方々が地域で活動していくことを受け止められるようなまちになると良いと思う。区で音頭を取って進めていくというよりは、区はマッチングを支援していく、場を提供していくやり方なのかと考えている。(事務局)
- 極端な話だが、うまくいかなければ1年2年でやめれば良い。祐天寺の色を出していったらどうか。
→行政主導でまちを作っていくのは難しいことが多いので、場合によっては整備計画策定後、継続的な活動の中で祐天寺の色とは何かなどを話し合っていけるのではないか。(事務局)
- 学芸大学駅周辺には30km/h制限というエリアがあるが、なぜ祐天寺駅周辺にはないのか。
→警視庁でエリアを定めるのだが、例えば、20km/h制限の道路があっても、そこも30km/hになってしまう。そのようなことも含めて、地元の合意を得ながら進めていくこととなっている。地元の要望がまとまれば区から推薦をすることができるが、区だけで実施することは難しいため、今後の場づくり中で交通安全のことを検討していくなどが考えられる。学芸大学駅周辺地区も祐天寺駅周辺地区と同様に整備方針、整備計画を策定し、それに基づいて安全歩行エリアを設定して、ゾーン30や押しチャリなどを実施している。(事務局)
- 商店街で毎年実施しているが、駅前広場で目黒高校の生徒や大人が演奏会を開いている。そのような場合も多いので、イベント利用は必要ないとなると何も出来なくなる。地域の人達がそのような認識を新たに持つて頂くことも必要かと思う。
- もっと別な形で駅前地区、駅前整備方針の形で進めることは出来ないか。
→資料2の15ページに、今後の進め方として、地域ごと・テーマごとの話し合いの場の設定としている。今後、分科会など、整備計画策定と並行しながらできるところから進めていきたいと考えている。(事務局)
- これだけ広いことを考えていると何年たっても結論は出ないと思う。
→次の整備計画では、具体的なスケジュールを検討していく予定である。駅前広場に関しては、予算との兼ね合いもあるが、並行して検討を進めていきたい。(事務局)

以 上